



国際センター通信 (No.2)

行動する土木学会を目指して – 調査・提言から具現化の場へ –

◆ 発足にあたって (第100代 土木学会 会長 小野 武彦)

未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から、はや1年3ヶ月の月日が流れ、立ち遅れていた復旧・復興への活動も具体化しつつあります。私達は長年にわたって時に過酷ともいえる自然災害に立ち向かいながら常に技術の質を高める努力を継続することで、社会に貢献してきたと自負しております。しかし、今まさに目前にある震災復興や今後予想される自然災害への対応によっては、土木技術者ひいては土木学会の真価が問われると言っても過言ではありません。

昨年度、土木学会では、東日本大震災特別委員会やシンポジウムにおいて、さまざまな観点から調査・提言を行ってきましたが、真に社会に貢献していくためには、さらに一歩進めて、具現化への道筋を立てて実現させていく必要があります。そのためには、今年度新設する震災に関連する委員会のもと昨年度の活動を具現化させるとともに、地域特性に応じた防災活動に力点を置いた支部活動を推進していきます。

また、2014年度の土木学会100周年に向けた実行委員会の設立や、今年4月に設立した国際センターにおいては的を絞った具体的な活動を展開していきます。

2年前から議論を深めてきた、土木改革に向けた、「土木の原点」、「市民工学」、「総合性」などについても、「ものづくりは人づくり」、「工学連携におけるコンダクターとしての自覚と自信」、「人・組織・技術の総合化の実現」と焦点を絞り、支部と本部が十分連携を図るとともに、産官学の垣根を低くして本音で議論し、協働していく環境をつくることで、行動する土木学会を目指していきたいと考えています。



【活動紹介】国際センター 情報G

◆ 平成24年度の活動目標：“基盤強化”～情報の集約・発信基地へ～

情報Gでは、国際部門に設置されている国際センターの各活動G、各委員会のみならず、学会活動の基幹を担う各調査研究委員会からの情報を集約し、発信します。

また、集約した情報を国際部門の活動方針ならびに戦略を検討する“国際戦略委員会”に報告することで、全体を俯瞰した継続的な施策の立案を図りたいと考えています。

◆ 平成24年度の具体的な活動内容

- 1) 情報の集約体制およびシステムの確立
- 2) 国際部門HPのリニューアル

日本語版：<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

英語版：http://committees.jsce.or.jp/s_iad/

- 3) 国際センター通信の発行(1ヶ月に1回 発行予定)

日本語版：http://committees.jsce.or.jp/kokusai/iac_news_j

英語版：http://committees.jsce.or.jp/s_iad/iac_news_e

- 4) News Letterの発行 (2ヶ月に1回 発行予定)

http://committees.jsce.or.jp/s_iad/newsletter

- 5) 英語版パンフレットのリニューアル

http://committees.jsce.or.jp/s_iad/jsce_leaflet



土木学会 専務理事
情報G担当 大西 博文

【活動紹介】 ACECC 担当委員会 <http://committees.jsce.or.jp/acecc/>

◆ アジア土木学協会連合協議会 (Asian Civil Engineering Coordinating Council; ACECC)

アジア土木学協会連合協議会 (ACECC) は、JSCE (日本)、ASCE (アメリカ)、PICE (フィリピン)、CICHE (台湾) および KSCE (韓国) の 5 団体により 1999 年 9 月 27 日に発足しました。現在は、発足時の 5 団体の他、IE Australia. (現 EA、オーストラリア)、VFCEA (ベトナム)、MACE (モンゴル)、HAKI (インドネシア)、ICE India (インド) が加盟し、計 10 ヶ国により構成されています。ACECC の主な役割は、アジア地域の土木学協会をコーディネートする連合組織として、アジア土木技術国際会議 (Civil Engineering Conference in Asian Region ; CECAR) を継続的に主催するとともに、多国間連携のもと、アジア地域が抱える社会資本整備や土木技術に関する課題を討議し問題解決を図ることです。

土木学会は、ACECC 活動の中心的な役割を果たしています。ACECC 担当委員会では、今後ますますその重要性が高まるアジア地域を対象とした活動を進めていく上で、ACECC をその活動の中核的組織と位置付け、ACECC を軸足においた国際展開を行っております。(詳細は右 URL 参照：<http://www.acecc.net/>)



ACECC 担当委員会
委員長 堀越 研一

◆ ACECC 事務局の誘致

ACECC 担当委員会では、土木学会ならびに日本の土木界の国際活動と ACECC 加盟団体の活動を更に密接に連携させ、我が国の国際戦略を構築するための情報を集約することを目的に、ACECC 事務局を誘致することを考えています。ACECC 事務局を誘致した暁には、集約した情報をいち早く会員の皆さまにお知らせするとともに、域内インフラ整備の意思決定に関わる高位の技術者との人的ネットワーク形成にも寄与することで、海外の最前線で活躍する技術者に有用な情報や人的ネットワークを付与することができます。ACECC 事務局の招致に関する活動に、是非、御賛同いただければ幸いです。

◆ 6th CECAR(2013.8.20~22@Jakarta)の御案内

- ・【募集】プロジェクト賞候補および業績賞候補 (http://committees.jsce.or.jp/acecc/6thcecar_award)
- ・【募集】論文 (査読付き) (http://committees.jsce.or.jp/acecc/6thcecar_paper)

イベント情報

- ・ 7/31 : ベトナム MOC 次官 来会
- ・ 8/23 : 国際建設マネジメント論① (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/management2012>)
- ・ 8/28,29 : "The 1st Infrastructure Symposium" hosted by JSCE-VASECT @Hanoi
- ・ 9/5,6 : 平成 24 年度 全国大会 (http://committees.jsce.or.jp/s_iad/node/49)
- ・ 9/5 : 14th International Summer Symposium (http://committees.jsce.or.jp/s_iad/node/47)

編集後記

酷暑の折、皆さまいかがお過ごしでしょうか。梅雨明けに合わせるように国際センターの活動も活発化していますが、暑さに負けず、なんとか皆さまと一緒に乗り切っていきたいと考える今日この頃です。

土木界の国際貢献に関して、学会が果たし得る役割は多岐にわたり、本格的に活動を行えば十二分の成果が得られると感じています。しかしながら、国際活動の成果は一朝一夕に現れるものではありません。長期的なスパンで考えていく必要があります。この点、非常に難しいことかもしれません。国際センターでは、長期的な活動を見据え、平成 24 年度の目標に“基盤強化”を掲げています。長丁場になるかと思いますが、何卒、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【ご意見・ご質問】: JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp

この通信をより話題性に富んだ内容にするため、皆様のご意見やコメントをお聞かせください。

【行事予定表(2012.7.27時点)】平成24年度 土木学会 国際部門

活動G		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			備考
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
情報G					▽国際センター通信(No.1) ▽国際センター通信(No.2)									
国際交流G	全国大会							▽H24年度 JSCE全国大会(9/5~7@名古屋大学) http://committees.jsce.or.jp/zenkoku/		http://committees.jsce.or.jp/s_iad/node/49				
	海外支部							▽海外支部会議(9/5@名古屋大学)						
	台湾				▽CICHE & JSCE交流会(6/11~13@台北)					▽CICHE Annual Conference 2012(11/6@台中)				
	韓国									▽KSCE Annual Conference 2012(11月上旬@韓国)				
	ベトナム					▽ベトナム建設省次官(7/31@JSCE) ▽VASECT(8/28~29)				▽【建設マネジメント委員会】VFCEA Joint Seminar(11月予定@Hanoi, Vietnam) ▽VIBRA-MOT International Conference(12/14@Hanoi, Vietnam)				
	英国									▽【土木計画学研究委員会】ICE Joint Seminar(10月下旬予定@日本) ▽【土木計画学研究委員会】ICE Joint Seminar(11月予定@London, U.K.)				
	モンゴル				▽MACE年次大会(6/15~17@)									
	トルコ													
	インドネシア													
	タイ								▽【構造工学委員会】EIT Joint Seminar(9月予定@Bangkok, Thailand)					
	フィリピン										▽PICE Annual Conference 2012(11/22~24@Cebu, Philippines)			
米国										▽ASCE Annual Conference 2012(10/18~20@Montreal, Canada)				
教育G								▽【募集】国際建設マネジメント論①(8/23@JSCE) http://committees.jsce.or.jp/kokusai/management2012		▽国際建設マネジメント論④(11/22)				
留学生G								▽国際建設マネジメント論②(9/27)		▽国際建設マネジメント論⑤(12/21)				
特定G								▽国際建設マネジメント論③(10/25)						
特定委員会	ACECC 担当委員会							▽【募集】「第6回アジア土木技術国際会議」におけるプロジェクト賞候補および業績賞候補 http://committees.jsce.or.jp/acecc/6thcecaraward						
	学術交流基金 管理委員会							▽ACECC TC-15(河川環境) IAHR-APD特別セッション(8/19~24@韓国・済州島) ▽ACECC TC-16(ITS) 第1回会議(9/3~4@チュラロンコン大学・バンコク) ▽ACECC TC-15(河川環境) ISE特別セッション(9/16~21@オーストリア・ウィーン) ▽ACECC 23rd ECM(9/21~22@Manila, Philippines)		▽ACECC 24th ECM(1~2月@台湾予定)				
	土木国際化 フォーラム (仮称)							▽JSCE Study Tour Grant 2012(8/29~9/9@東京・名古屋・神戸)						